

つくば市民白書 2012 実行委員会 第9回会合レジュメ

日時：2011年3月26日(土)13:30-15:30(予定)

場所：市民活動センター

議題：

- (1) 報告（経過、その他）
- (2) 協議
- (3) その他

(1) 報告

①経過報告

2月27日(日)	第8回実行委員会	(春日公民館)
3月26日(土)	第9回実行委員会	(市民活動センター)

(2) 協議

①編集方針の検討

1. 白書の内容

- ・実行委員会は、執筆者に対するガイドラインを作成し、執筆者に提示する。
- ・編集委員会はガイドラインに沿って執筆者と話し合いながら論文作成過程を管理する。
- ・最終論文の内容についての責任は執筆者が負う。

2. 編集委員会

冊子編集作業を進めるために、実行委員会に下に編集委員会を設置する。

(原田提案)

編集長：山本

委員：亀山、野口、寺門、河村、矢澤 (必要に応じて追加する)

実行委員会と編集委員会は以下のように仕事分担をし、連携する。

	実行委員会	編集委員会
分担	ガイドラインの作成 目次案の決定 会計管理	執筆者の選定、執筆依頼 目次構成の調整
編集	執筆者、執筆内容の確認 最終稿の承認	原稿作成過程の管理 印刷所との交渉
関係	課題を検討し、必要に応じて指示する	状況報告 課題の提起

3. 執筆者のためのガイドライン (案)

(別紙)

②目次案の作成

別紙「構成案」参照

③勉強会

1. TX 沿線開発とつくば市の財政 (亀山)
2. つくば環境スタイルと低炭素社会づくり (矢澤)
3. つくば市の教育 (寺門)
4. 地域コミュニティ問題 (野口)

④スケジュール

(4月)

- ・目次案完成、編集体制始動

(4月～7月)

- ・執筆依頼

(8月～12月)

- ・原稿執筆、一次稿完成

(2012年1月～4月)

編集、最終稿、印刷、完成

④次回

=====
2011.03.26

執筆者のためのガイドライン (案)

つくば市民白書 2012 実行委員会は、多くの市民の共同作業で市民白書を作成したいと考えていますが、執筆者には以下の事項を理解していただき、全体としてまとまりのある冊子となるように論文を作成していただきたいと思っています。

①白書の目的

つくばの市政と暮らしの現状・問題点・今後の課題などを市民目線で捉え調査、解析を行い、市民に提示する。

②内容に関する注意

- ・できる限り客観的に確認できるデータに基づく。
 - ・事実関係の記述と執筆者による解析、評価、提案がはっきりと区別できるように書く。
 - ・テーマを明確に設定して、余分なことはできるだけ書かない。
- (長さ、ですます調、章番号、見出し、、、)

③編集委員会との協議

論文の体裁、内容その他に関して随時編集委員会と協議しながら執筆を進めていただくようお願いいたします。

=====

2012 白書構成案 (20110326)

(1) 体裁

タイトル：「つくば市民白書 2012-----」

発行者：つくば市民白書 2012 実行委員会

頒布価格：800 円

印刷部数：2000 (贈呈 200、頒布 1800)

A4 版、140 ページ 表紙 カラー印刷

(2) 予算

総額 130 万円 (印刷費 80 万円、その他 50 万円)

収入見込み：800 円×1800=1,440,000 円

(3) 目次

推薦のことば 刊行にあたって 目次	
I 行政と財政 TX 沿線開発とつくば市の財政 (亀山) 市の概要、行政組織の組織上の問題、運営上の問題 財政の問題 議会の問題 都市開発、情報公開、協働、男女共同参画	
II 医療と福祉 高齢化	
III 教育と文化 つくば市の教育 (「教育日本一」の問題) (寺門) 保育所、幼稚園、小中高、 文化行政 公民館の民営化 (地域交流センター)	
IV まちづくり 地域コミュニティ問題 (野口) TX 沿線開発、市街地域、周辺地域	
V 環境 つくば環境スタイルと低炭素社会作り (矢澤) つくばスタイル、環境行政、市民活動	
VI 産業と観光 つくば市の産業(農業、商業、工業、その他) 観光	
VII 科学技術	
VIII 平和 市民の平和への取り組み	
付属資料 つくば市民白書実行委員会 あとがき	

つくば市民白書 2012 実行委員会 第 8 回会合まとめ

日時：2011 年 2 月 27 日(日)9:30-12:15

場所：春日公民館、会議室 1

出席者：河村、山本、矢澤、酒井、横井、野口、寺門、原田

議題：

- (1) 報告（経過、つくば市行財政に関する報告）
- (2) 協議
- (3) その他

(1) 報告

①経過報告

前回 1 月 31 日第 6 回実行委員会の後、2 月 7 日に原田、横井、矢澤がつくば市役所企画経営課を訪問してつくば市の総合計画について質問し、文書の提供を求めた。後日実費配布ということで横井が 3600 円で購入した。

②つくば市行財政に関する報告(酒井)

2010 年 11 月 20, 21 日につくば田園居住シンポジウムを開催したが、つくば市からの報告について 2 点の問題を感じた。

1. 発表原稿作成をコンサルタントに頼って表面的な報告に終始し、問題点を明らかにしなかった。
2. つくば市は「統治と管理」の発想のみで「経営とサービス」の感覚がないことが明らかになった。TX 沿線開発の道路、上下水道、学校など公共施設の建設で今後巨額な請求が来ることが予想されるが、対応を考えていない。先行投資を行って人口増加を計り、税収で返済するなど経営的発想が必要である。

質疑で、経営の発想は重要だが、企業経営的なやり方では弱者切り捨てになりかねないので表現を工夫する必要がある、との意見があった。

③教育に関する項目について(寺門)

養護学校：調査を行った結果をまとめる。

保育園：まつぼっくり保育園園長に頼む。

高校：上郷高校廃止について書けそうだ。

小中学校：執筆者が見つからない。矢澤が知り合いに当たってみる。

④第 3 次つくば市総合計画・後期基本計画の購入

横井が購入(3600 円)した。横井が管理している 2008 年版白書売上げ会計より出す。(後日、2012 年版会計にまとめる。)

(2) 協議

①編集委員会構成の検討

今回は編集作業と体制について議論し次のような意見が出た。次回整理する。

1. 2008 年版と同様、編集チームを作り、編集実務を担当する。
2. 2008 年版よりもう一步前進させる必要がある。質を高める。
2. 編集方針、目的など実行委員会で確認する。
3. 執筆依頼時に、執筆者が内容に関する責任を負うことを確認する。
編集者は執筆者の意図を出来るだけ尊重する。
4. 実行委員会メンバーを増やす必要がある。
5. 公開の勉強会を開催する。つくば市の担当者にも来てもらう。

6. 2008年版は発行後、茨大の先生にレビューをしてもらった。今回も考えるとよい。

②勉強会

4つの重要項目（TX 沿線開発とつくば市の財政(亀山)、つくば環境スタイルと低炭素社会作り(矢澤)、つくば市の教育(寺門)、地域コミュニティ問題(野口)) について4月以降勉強会を開催する。各担当者が企画案を作成し、次回検討する。

(3) その他

①3月17日(木)16:00 市民活動センターで松ぼっくり保育園の園長の話聞く機会がある。

(4) 次回

3月26日(土)13:30-15:30 市民活動センター会議室

- ・編集方針、編集委員会の組織、校正目次原案を確定する。
- ・勉強会の企画案を持ち寄り検討する。
- ・実行委員会拡大について検討する。

(以上)